

2019総合日本史授業プリント近現代2 第二次世界大戦始まる

3年 組 番 _____

☆3つの陣営の対立

- | | |
|---|-----------------------|
| A | 枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ |
| B | 自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス |
| C | 共産主義陣営…ソ連 |

1 近衛文麿内閣 1937. 6～39. 1

A 2 日独伊三国防共協定 (1937)…ローマで調印 外相 有田八郎

仮想敵国は3 ソ連 1939年にハンガリー・スペイン・満州国も参加

C 4 張鼓峰事件(1938)…朝・満・ソの国境でソ連軍と衝突 …… 関東軍大敗、
→認識の変化

5 平沼騏一郎内閣 1939. 1～39. 8 枢密院議長 元大審院長

C 6 ノモンハン事件(1939)…満・蒙国境でソ連軍と衝突 …… (北進論から南進論へ)

B アメリカ、7 日米通商航海条約破棄通告(1939. 7)…日本の中国侵略に抗議 対日経済圧迫

※(A) 8 独ソ不可侵条約 (9,1939) モスクワで

→ 防共協定と矛盾 平沼内閣総辞職 (「欧州の天地は複雑怪奇」)

10 阿部信行内閣 1939. 8～40. 1 陸軍大将

11 第二次世界大戦勃発(12,1939. 9)…ドイツがポーランド侵攻、英・仏と開戦 →日本は不介入方針

13 米内光政内閣 1940. 1～40. 7 元海軍大臣 陸軍強硬派と対立(親英米) ———→

※ドイツ優勢 (1940. 6 14 フランス降伏) 陸軍、軍部大臣現役武官制を使って内閣を倒す

【正誤問題に挑戦】 <1990本試験より>

① アメリカの廃棄通告によって 日米通商航海条約が失効するとただちに、日本は資源を求めてオランダ領東インド(インドネシア)に出兵した。

15 近衛文麿(Ⅱ) 内閣 1940. 7~41. 7

A 16 日独伊三国軍事同盟 (1940. 9) ベルリンで調印 17 松岡洋右 外相(外務大臣)

(欧州・アジアでの日独伊の指導的地位の相互尊重
 第三国からの攻撃に対する相互扶助(仮想敵国は18 アメリカ)

B 19 南進政策への転換…北進政策の失敗 20 東南アジアの資源確保 21 援蔣ルートの遮断

……フランス領インドシナ：現在のベトナム・カンボジアなど

→22 北部仏印 へ23 進駐 (1940)→アメリカは24 鉄鋼・くず鉄を禁輸

→A 25 日米交渉の開始(1941. 4~ ワシントン) ※米駐日大使グルーも尽力

日：26 野村吉三郎 (駐米大使) +27 来栖三郎 (特命全權大使)

米：28 ハル (國務長官) →妥協案(日米諒解案)成立 →松岡外相が反対

C 29 日ソ中立条約 (1941. 4)…松岡、ドイツよりの帰途に締結

相互不可侵、中立維持、5年間 4国協商によるアメリカ圧倒 「北守南攻」

(B・C) 30 独ソ戦の開始(1941. 6~)…情勢の激変

→7月の31 御前会議(天皇臨席の首脳会議)で南北併進を決定(「32 帝国国策要綱」)

☆33 関東軍特種演習 (関特演)計画…70万の兵力を満ソ国境へ(対ソ戦)

34 近衛文麿(Ⅲ)内閣 1941. 7~41. 10 35 松岡外相(日米交渉に反対していた)の排除

B 36 南部仏印 進駐(1941. 7)…ゴム・石油・リン酸・アルミなど資源の確保

→アメリカの態度硬化…37 在米日本資産を凍結(7/28)、対日38 石油禁輸 (8/9)

☆39 ABCD包囲陣 (America, Britain, China, Dutch)…対日経済封鎖

→9月6日の40 御前会議…「41 帝国国策遂行要領」の決定

10月上旬までに交渉が妥結しない場合、対米(英・蘭)開戦

42 東条英機 内閣 1941. 10~44. 7

……陸軍大臣として近衛首相と対立(日米交渉打ち切りを主張)

43 木戸幸一内大臣の推薦で首相に(9/6の御前会議決定の白紙還元が条件)

アメリカ、「44 ハルノート」を提案…45 満州事変以前への復帰要求(事実上の最後通牒)

①日本の中国・仏印からの即時撤兵 ②三国同盟廃棄 ③重慶政府以外は否認

→開戦 46 1941年12月8日 47 英領マレーシア上陸、48 真珠湾攻撃、49 対米英宣戦布告

☆名称 当時は「50 大東亜戦争」(“支那事変”も含め)

→現在は、日中戦争も合わせて51 アジア太平洋戦争と呼ぶ

☆半年足らずで東南アジアほぼ全域を制圧

1942. 1月 52 マニラ(フィリピン)占領 2月 53 シンガポール占領 5月頃南太平洋一帯を制圧